

〔平成21年5月11日（月）〕

“「みどりの月間」(4/15～5/14)”

# 美しい森林づくりニュース 〈NO. 135〉

～ 伝えたい木の文化、残したい美しい森 ～



発信元：林野庁 研究・保全課 森林環境保全班 企画調整係 山口  
Tel：03-3502-8111（内線6216）03-3501-3845（直通）Fax：03-3502-2887

ご意見、ご質問は → <https://www.contact.maff.go.jp/rinya/form/5dd6.html>

バックナンバーは → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

## ◎（社）京都モデルフォレスト協会が京都市内の国有林に「モデルフォレスト」を設定、オムロン（株）が森林整備活動支援

（社）京都モデルフォレスト協会（理事長：柏原康夫）と近畿中国森林管理局京都大阪森林管理事務所は、4月21日（火）、京都府公館において、京都市右京区ちやうとうぎかに所在する長刀坂国有林の約14haを対象とする「ふれあいの森」協定を締結しました。（社）京都モデルフォレスト協会は、森林から恵みを受ける全ての府民の参画と協働により、府民共有の貴重な財産である京都の森林を守り育てる様々な取組を行っています。



協定交換式、調印式後の1枚：山田府知事、柏原理事長、立石会長、東影執行委員長、朝比奈局長（左より）

「ふれあいの森」協定の締結を踏まえて、（社）京都モデルフォレスト協会では、オムロン株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役社長：作田久男）、オムロン労働組合京都支部（東影英樹執行委員長）並びに京都府と「森林の利用保全に関する協定」を締結し、連携して、アカマツ林再生や野鳥の森づくり、歩道づくりなどに取り組むこととしました。オムロン（株）は、同社の社名が「御室（おむろ）」じんなじと呼ばれる仁和寺の近隣で創業されたことに由来することから、今般、仁和寺に程近い長刀坂国有林での森林整備活動に協力していただけることとなりました。



嵯峨野の広沢池から見た長刀坂国有林（中央付近）

協定締結式では、関係者による協定の交換・署名後、朝比奈清近畿中国局長より、長刀坂国有林は京都嵯峨野の背景林となっているが、松枯れが広がりつつある状況で、今般の連携により、森林整備に取り組んでいただけることを有りがたく思う、古都京都における森林景観が再生されることを期待

している等コメントを述べました。

続いて、立石義雄オムロン(株)代表取締役会長より、企業は社会の公器であるとの理念の下、森林保全活動を通じて環境への意識を高め、循環型社会の実現につなげたい旨、東影委員長より、オムロン労働組合としても環境保全の取組を強化したい旨、柏原理事長より、モデルフォレスト運動を全国に広げていきたい、自分が会長を務める「日本の森を守る地方銀行有志の会」では、本年12月4日に「日本の森を守る京都サミット（仮称）」を開催して、森を守る大切さを国内外に発信する考えである旨、山田啓二京都府知事より、関係者が連携し国有林でモデルフォレスト運動を展開できることをうれしく思う旨、それぞれコメントがありました。

今後、(社)京都モデルフォレスト協会では、同協会の会員やオムロン(株)の社員、地域住民等の協力を得つつ、「長刀坂モデルフォレスト」において、広葉樹の除伐や地表の落ち葉の除去等を行い、アカマツ林の再生や野鳥の森づくりに取り組むこととしています。

詳しくはこちらから（京都大阪森林管理事務所ホームページ）

→ <http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/kyoto/>

## ◎世界自然遺産の地・知床で森林づくり活動に参加しませんか？

### － 北海道知床のウトロ地区に知床森林センターを移転整備 －

北海道森林管理局知床森林センターでは、国民の皆様の森林づくりに対する気運や地球温暖化防止などに対する意識を高めていくため、世界自然遺産に登録された豊かな生態系を有する知床半島において、個人、企業、団体等の多様な主体の参加による森林づくり活動や森林環境教育を推進するための取組を実践しています。

このたび、この知床森林センターを、これまでの斜里町役場前から世界遺産の入口に位置する同町ウトロ地区に移転整備しました。庁舎横には、昨年5月にオープンした知床ボランティア活動施設もあり、今後さらに世界遺産を訪れる人々とのつながりを深めながら、国民参加の森林づくりを推進していきたいと考えています。



知床森林センター新庁舎  
(庁舎向かって左奥が知床ボランティア活動施設)



知床森林センター職員（よろしくお願ひします。）

森林教室や自然観察会などの開催予定、知床ボランティア活動施設の利用方法など、詳しくは、知床森林センターまでお問い合わせください。

詳しいはこちらから

北海道森林管理局知床森林センター

斜里町ウトロ東国設知床野営場内 Tel : 0152-24-3466

ホームページ: <http://www.shiretoko.go.jp/>

## ◎「グリーンフェア2009」の開催(関東森林管理局)

ー みんなの未来のため、みんなで作ろう！森づくりシンポジウム ー

4月25日(土)、関東森林管理局は局内において、「グリーンフェア2009」～みんなの未来のため、みんなで作ろう！森づくりシンポジウム～を、日本森林林業振興会と共催で実施しました。

当日は、あいにくの雨となりましたが、木工品づくりや丸太切りコーナー、群馬県、上毛新聞社、NPO法人森の会及び日本野鳥の会群馬県支部の展示ブースなどに多くの市民の方々が来場しました。また、地元テレビ局や新聞社等の取材もあり、国有林の治山事業や企業が参加する森林づくりなどが紹介されました。

特に、今年のグリーンフェアのメインである作家の立松和平氏の「足尾の山に100万本の木を植える」と題した講演会には、群馬県内の高校生などをはじめ、一般市民の方々約200名が聴講に訪れました。立松氏は、荒廃した足尾で植樹活動に取り組んで14年目となり、昨年は1,500名もの参加者があったことを紹介しつつ、「貧者の一灯で良い」「心に樹を植えよう」といった文学者ならではの話をいただきました。

講演後は、高校生等からの植林活動に対する質問にも、丁寧に分かりやすくお答えいただき、講演会を終了しました。



熱心に講演する立松和平氏



会場に集まった大勢の来場者



木工品づくりを楽しむ子どもたち



また、別室の「治山事業紹介コーナー」では、足尾の治山事業や中越地震で被害を受けた山地の復旧の様子などを、何枚ものパネルで分かりやすく紹介し、訪れた方に大変好評でした。

詳しくはこちらから

(関東森林管理局ホームページ)

→ <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/koho/event/index.html>



## ◎ ひだ林業・建設業森づくり協議会との意見交換会を開催

林業と建設業の連携(林建共働)については、岐阜県飛騨、高山、下呂地域で平成20年度から先駆的な取組が進められています。

今回、地元の森林組合、建設業協会等協議会メンバー、森岐阜県林政部長等と沼田林野庁森林整備部長が高山市において、意見交換を行いました。



意見交換会の模様(挨拶する沼田部長)

まず、協議会会長である門前飛騨高山森林組合長等から1年間の取組内容、これを踏まえた平成21年度の取組が説明され、その後意見交換を行いました。

同協議会では、昨年度の取組より、①林建協働の具体的実行組織、②事業地の安定的確保、③チームによる作業の実践トレーニングが必要と考え、本年度は、林業に本格参入する建設業者の組織づくりと林業側との協働体制構築に向けた役割分担の検討、5年間の中期事業経営プランの作成、コスト分析を含むチームによる作業の実践トレーニングなどに取り組むこととしています。

※ 「美しい森林づくりニュース」のメールマガジンの配信を始めています。

登録はこちらから → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/mail.html>